

検査内容変更のお知らせ

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび下記検査項目に於きまして、検査内容を変更させて頂きたく、
ご案内申し上げます。

謹白

記

変更項目

血球内物質証明検査
及び骨髓像検査 検査項目 鉄(Fe)

変更内容

染色工程内における試薬濃度及び核染色試薬の変更

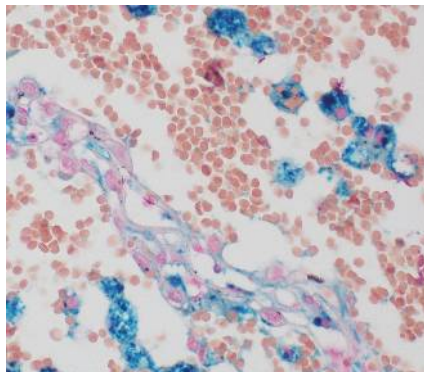
現在、特殊染色 鉄染色（ベルリン青染色）における使用試薬及び、反応時間を既成染色キットを使用し実施しております。操作が簡便かつ試薬調整等が不要・安定性の面で採用してはりましたが、染色時間や核の染色態度による陽性顆粒の識別がやや不明瞭な点など、課題が残っておりました。この度、現行の試薬・手技を見直し、添付の通り変更致します。特徴としては、核染色を変更することにより、陽性顆粒及び染色性の指標となるマクロファージの染色態度が鮮明に認識し易くなった事などが挙げられます。

平成27年6月

血球内物質証明検査 及び骨髄像検査 鉄 (Fe) 染色

平成27年7月以降、従来の染色試薬であります、フェロシアン化カリウム及び塩酸水の試薬濃度を2%から1%に変更、また、核染色試薬を現在のサフラニンからケルンエヒトロートへの変更を致します。下記の通りご案内申し上げます。

※印・赤字が変更部分となります

	新	現
検査項目名 (検査方法)	血球内物質証明検査 及び骨髄像検査 鉄 (Fe) 染色	血球内物質証明検査 及び骨髄像検査 鉄 (Fe) 染色
検査材料	骨髄液または末梢血	骨髄液または末梢血
提出	塗沫標本	塗沫標本
検体の保存方法	室温	室温
所要日数	4~7	4~7
染色試薬 及び反応時間	1%フェロシアン化カリウム溶液 1%塩酸水 15分	2%フェロシアン化カリウム溶液 2%塩酸水 少なくとも60分
核染色(後染色)試薬	ケルンエヒトロート 10分程度	サフラニン 5分程度
染色性指標	コントロール及び マクロファージ(組織球)	コントロール及び マクロファージ(組織球)
比較画像 (×40)		

備考

※塗沫は出来るだけ薄くしてください。厚いと染色過程において剥離の可能性あります。
※塗沫後は冷風にて乾燥し、可及的速やかにご提出ください。